

コンクリート標準示方書（昭和33年版）正誤表

無筋コンクリート標準示方書

ページ	行	条	誤	正
17	1	26	$c/w-\sigma$ 線はつぎの式としてよい。	c/w と σ との関係として つぎの式を用いてよい。
"	6	26	表 5 コンクリートの耐久性から定まる最大の水セメント比	表 5 コンクリートの耐久性を もととして水セメント比を定める場合の最大の水セメント比

鉄筋コンクリート標準示方書

67	10~11	29	$c/w-\sigma$ 線はつぎの式としてよい。	c/w と σ との関係として つぎの式を用いてよい。
"	17	"	表 6 コンクリートの耐久性から定まる最大の水セメント比	表 6 コンクリートの耐久性を もととして水セメント比を定める場合の最大の水セメント比
73	2	42	バケツを用いるがよい。	バケツを用いるのがよい。
111	図 16	143	(図の説明) $t \leq b$	(図の説明) $t \leq d$
116	8	149		図 19 の上のりを削除

コンクリート舗装標準示方書

139	下・1	15	____ ときの	返したときの
145	3	35	表 5 コンクリートの耐久性から定まる最大の水セメント比	表 5 コンクリートの耐久性を もととして水セメント比を定める場合の最大の水セメント比

ダム コンクリート標準示方書

175	1	28	表 5 コンクリートの耐久性から定まる最大の水セメント比	表 5 コンクリートの耐久性を もととして水セメント比を定める場合の最大の水セメント比				
176	表 7	32	<table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px;">水セメント比 $\frac{W}{C+P}$</td> <td style="padding: 2px;">ポゾラン比 $\frac{P}{C+P}$</td> </tr> </table>	水セメント比 $\frac{W}{C+P}$	ポゾラン比 $\frac{P}{C+P}$	<table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 2px;">水セメント比 $\frac{w}{c+p}$</td> <td style="padding: 2px;">ポゾラン比 $\frac{p}{c+p}$</td> </tr> </table>	水セメント比 $\frac{w}{c+p}$	ポゾラン比 $\frac{p}{c+p}$
水セメント比 $\frac{W}{C+P}$	ポゾラン比 $\frac{P}{C+P}$							
水セメント比 $\frac{w}{c+p}$	ポゾラン比 $\frac{p}{c+p}$							
180	11	44	達した後で	達した のちで				
184	10	59	ぬらした後、	ぬらした のち、				
185	12	64	養生した後、	養生した のち、				
187	6	73	特に水の漏れない	特に水の もれない				

土 木 学 会 規 準

331	下・6		長さ変比率(%)=	長さ変化率(%)=
-----	-----	--	-----------	-----------

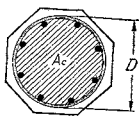
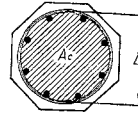
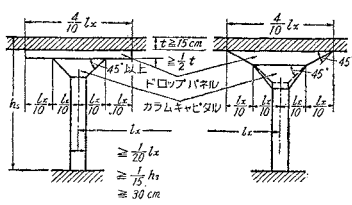
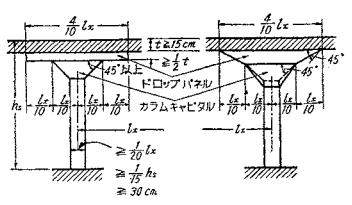
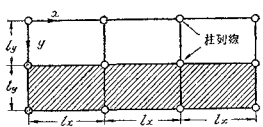
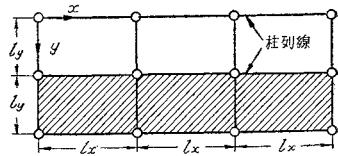
コンクリート標準示方書 解説 正誤表

無筋コンクリート標準示方書解説

ページ	行	条	誤	正
扉	目次		ダムコンクリート標準示方書解説…… 296	ダムコンクリート標準示方書解説…… 269
1	下・2		21条 セメントの製造	21条 セメントの貯蔵
21	下・4	19・解	記してある。	書いてある。
22	4	20・解	できるようにするものも A E 剤	てりょうなものも A E 剤
〃	7	〃	そこで この条に	そこで この条のように
〃	17	21	セメントの製造	セメントの貯蔵
24	下・10	23・解	しかし単位水	なお単位水
26	7	26	$c/w-\sigma$ 線は つぎの式としてよい。	c/w と σ との関係として つぎの式を用いてよい。
〃	12	〃	表 5 コンクリートの耐久性から定まる最大の水セメント比	表 5 コンクリートの耐久性を もととして水セメント比を定める場合の最大の水セメント比
27	下・9	26・解	5 個の	5 回の
40	5	34・解	(土木学会規準 43 章)	(土木学会規準 41 章)
64	下・2・表 11	69・解	NaCl ₂	NaCl
66	15	70・解	一般に気温 + \sim 4°C	一般に気温 +4°C
75	下・2	88・解	材料の分離	材料の分離
79	1	95・解	粗骨材は	細骨材は
81	下・17	98・解	影響を	影響を
82	下・11	99・解	計量、設備、	計量設備、
〃	下・10	〃	リート品質	リートの品質
83	9~10	〃	図中の数は、	図中の数字は、
84	1	100	JJS	JIS

鉄筋コンクリート標準示方書解説

118	21	29	$c/w-\sigma$ 線は つぎの式としてよい。	c/w と σ との関係として つぎの式を用いてよい。
〃	26	〃	表 6 コンクリートの耐久性から定まる最大の水セメント比	表 6 コンクリートの耐久性を もととして水セメント比を定める場合の最大の水セメント比
125	15	42	用いるがよい	用いるのがよい
129	解説 図 1			
130	下・11	58	鉄筋とコンクリートの	鉄筋とコンクリートとの
134	下・13~12	68・解	取りはずしたため、コンクリート	取りはずしたために、コンクリート
135	18	69	表 9 型わく を取りはずして よい時期のコンクリート圧縮強度	表 9 型わく を取りはずして よい時期のコンクリートの圧縮強度
150	6	106・解	または 強度の	または 強さの
〃	15	107・解	地震動によっておこる 構造物	地震動によって 構造物
155	下・7	112・解	軸方向力を	軸方向力とを
156	11	113	全断面積と、鉄筋を	全断面積と、鉄筋を
157	解説 図 2	(b)	C_s	C'

ページ	行	条	誤	正
"	"	(c)	$C=C_c+C_s'$	$C=C_c+C'$
158	4	114・解	$M_s'=\underline{A_s'}\sigma_{sa}$	$M_s'=2A_s'\sigma_{sa}$
165	13	120	最大水平純間隔	最小水平純間隔
173	1	126	なお、鉄筋	なお、鉄鋼
174	下・2	129・解	52 条に、	55 条に、
175	下・5	131・解	一般の構造を、考えて、	一般の構造を、考えて、
184	3	136	$\max M_y = \frac{1+\nu_y}{12}$	$\max M_y = \frac{1+\nu_y}{2}$
185	下・14	136・解	計算には荷重のため、	計算には簡単のため、
189	下・2	140・解	(a) を通過する	(a) を適用する
190	7	"	突縁の圧縮有効幅	突縁の有効幅
"	下・8	141	その幅の 15 倍以上	その幅の 15 倍以下
191	下・6	142	その他の内部支点	(頭を"第 1 内部支点"にそろえる)
192	図 16 (b)	143	 A_c はらせん鉄筋柱の有効断面積	 A_c はらせん鉄筋柱の有効断面積
193	下・8	143・解	構造物の強度に	構造物の強さに
194	下・5	"	柱が十分な強度を	柱が十分な強さを
198	5	146・解	(または h/D) に	(または h/D) に
200	図 18	148		
201	図 19	149		
205	15	151・解	それぞれの方向と	それぞれの方向で
208	2	152・解	ef, fg, hg, he, ef, (解説 図	ef, fg, hg, he, (解説 図
"	4	"	ef, にたいしては	ef にたいしては
"	"	"	面積 eijk に	面積 eijf に
"	5	"	断面 ef, に	断面 fg に
212	8	158	底板の下面に	底板の下面に
213	24	158・解	等の水位以下で、	等の水位以上で、
214	1	21章・解	特に注意をする	特に注意を要する

コンクリート舗装標準示方書解説

239	下・12	35	よらければ	よらなければ
"	下・6	"	表 5 コンクリートの耐久性から定ま る最大の水セメント比	表 5 コンクリートの耐久性を もと として水セメント比を定める場合の最 大の水セメント比

ダム コンクリート標準示方書解説

ページ	行	条	誤	正								
289	7	28	表 5 コンクリートの耐久性から定まる最大の水セメント比	表 5 コンクリートの耐久性をもととして水セメント比を定める場合の最大の水セメント比								
292	表 7	32	<table border="1"> <tr> <td>水セメント比</td> <td>ポゾラ</td> </tr> <tr> <td>$\frac{W}{C+P}$</td> <td>$\frac{P}{C+P}$</td> </tr> </table>	水セメント比	ポゾラ	$\frac{W}{C+P}$	$\frac{P}{C+P}$	<table border="1"> <tr> <td>水セメント比</td> <td>ポゾラ</td> </tr> <tr> <td>$\frac{w}{c+p}$</td> <td>$\frac{p}{c+p}$</td> </tr> </table>	水セメント比	ポゾラ	$\frac{w}{c+p}$	$\frac{p}{c+p}$
水セメント比	ポゾラ											
$\frac{W}{C+P}$	$\frac{P}{C+P}$											
水セメント比	ポゾラ											
$\frac{w}{c+p}$	$\frac{p}{c+p}$											
300	下・2	44	達した後で	達した <u>の</u> ちで								
309	下・4	59	ぬらした後、	ぬらした <u>の</u> ち、								
313	4	63・解	ほとんど <u>だ</u> ない。	ほとんど <u>ど</u> ない。								

ニ ュ ー ス

建設省 3 課 14 工事々務所を新設

建設省では、大臣官房に海外協力課を新設するほか、中部、九州両地方建設局に河川管理課を設置し、工事量の増大に対処して 14 工事々務所を増設した。

海外協力課は、建設業の海外進出を助成する必要から、かねてからその設置が要望されていたものである。この課においては、海外進出に必要な資金のあつせん等を行うほか、海外情報の収集、外国人研修生の受入れ等を行うことになっている。

中部、九州両地方建設局に新設される河川管理課は、

従来河川計画課で行っていた洪水予報、ダムの管理、水文資料の収集等を行う。今回の増設で、河川管理課を有しない地方建設局は北陸、中国、四国の 3 地方建設局のみとなつた。

増設された 14 工事々務所の内訳は、道路 8、ダム 4(うち調査事務所 2)、河川 1、砂防 1 で、工事量の増大にともなう道路工事々務所の増加が目立つほか、昨年大被害を受けた狩野川に砂防工事々務所が設けられたのは注目すべき点であると思われる。

学会誌 44 巻 3 号 正誤表

小椋 正：松島炭田開発にともなう池島における人工港築造について

ページ	行	誤	正
11	表一 4	水量 (°C)	水温 (°C)
13	表一 10	工期 35.5 : 11.5	工期 3.5 : 11.5
”	右・16	図一 14 は 表一 9 の	図一 15 は 表一 9 の